

# メッシュ柵設置による地域ぐるみのイノシシ対策(神奈川県小田原市上曽我地区)

- 令和元年度に県及び市の協力の下、地域住民が中心となり、「地域ぐるみの鳥獣被害対策」を実施
- ドローン撮影による集落環境調査と勉強会を重ねた結果、被害防護対策の遅れを認識し、広域的にメッシュ柵を設置
- メッシュ柵の設置作業に伴い、イノシシのひそみ場となっていたやぶや耕作放棄地の解消にも寄与

## 取組内容

- メッシュ柵の設置箇所の地権者が費用負担や作業内容を相談  
複数の畑や果樹園を一体的に囲う広域的なメッシュ柵を設置



- メッシュ柵の設置作業に伴い、イノシシのひそみ場となっていたやぶや耕作放棄地の解消にも寄与



## 成果

- 地域ぐるみの取組により、地域全体の鳥獣被害防止対策への意識が向上
- メッシュ柵の設置により農業被害が減少したことで、農業者の営農意欲も向上

## 今後

- 柵の適切な維持管理を継続していくほか、依然としてイノシシのひそみ場が多いことから、やぶの刈り払いなどの環境整備を引き続き実施

# メッシュ柵設置による地域ぐるみのイノシシ対策(神奈川県小田原市上曽我地区)

**きっかけ・背景**

- イノシシによる農地や農作物被害の増加、住宅地への出没が懸念されていたため、地域住民自ら狩猟免許を取得するなど、捕獲活動を中心に被害対策を推進

**課題**

- イノシシのひそみ場となるやぶや耕作放棄地が点在しており、被害防護対策や集落環境整備が不十分

**Step1 集落環境調査 (R元)**

- 集落の状況を把握するため、かながわ鳥獣被害対策支援センターが現地調査とドローン撮影による集落環境調査を実施

**Step2 勉強会、話し合い (R元)**

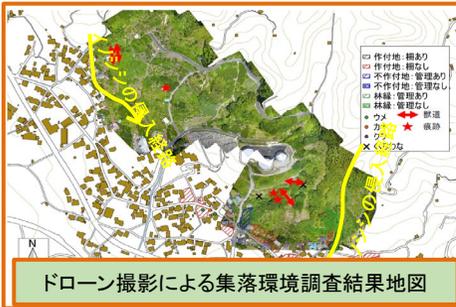
- 集落環境調査の結果から、集落の状況やイノシシの生態などの勉強会、今後の対策についての話し合いを実施  
⇒メッシュ柵の設置に決定

**Step3 メッシュ柵の設置 (R元)**

- 地権者計10名にて、費用負担や作業内容を相談
- 小田原市鳥獣被害防止対策協議会の侵入防止柵購入費補助金を活用し、費用負担を軽減
- 設置後は地権者が当番制で見回りをを行い、維持管理を徹底



梅林掘り起こし跡



ドローン撮影による集落環境調査結果地図



メッシュ柵設置箇所



3日間、延べ40人が参加



動物が使用していたヤブ

区分	メッシュ柵	点検員回り状況調査	点検員	令和2年1月より	実施状況	備考
A	人里の野のなか	メッシュ柵あり	〇	〇	〇	
	田舎の里	メッシュ柵なし	△	△	△	
	耕作放棄地	メッシュ柵あり	〇	〇	〇	
	水田	メッシュ柵あり	〇	〇	〇	
B	人里の野のなか	メッシュ柵あり	〇	〇	〇	
	田舎の里	メッシュ柵なし	△	△	△	
	耕作放棄地	メッシュ柵あり	〇	〇	〇	
	水田	メッシュ柵あり	〇	〇	〇	
C	人里の野のなか	メッシュ柵あり	〇	〇	〇	
	田舎の里	メッシュ柵なし	△	△	△	
	耕作放棄地	メッシュ柵あり	〇	〇	〇	
	水田	メッシュ柵あり	〇	〇	〇	

地域が作った柵点検表

**取組の特色**

- ドローン撮影による集落環境調査を実施したことで、より詳細で正確に現状を把握
- 小田原市鳥獣被害防止対策協議会の侵入防止柵購入費補助金を地域ぐるみで活用したことで、約9割の費用を軽減
- 地域住民が主体となり、設置後の維持管理も含め、効果的な対策を実施

**取組による成果・効果**

- 3日間延べ40人が参加し、約800mに及ぶメッシュ柵を設置。イノシシによる食害や掘り起こしなどの農業被害がゼロに。設置後は地権者同士で協力し、柵の維持管理も実施
- メッシュ柵の設置作業に伴い、イノシシのひそみ場となっていたやぶや耕作放棄地の解消にも寄与
- 地域ぐるみの取組により、地域全体の鳥獣被害防止対策への意識が向上するとともに、農業被害がゼロになったことで、農業者の営農意欲が向上